

社会科（公民的分野）学習指導案

日 時 平成25年11月29日（金）第2校時

場 所 宇城市立不知火中学校

年 組 宇城市立三角中学校 3年2組

男子16名・女子15名 計31名

指導者 宇城市立三角中学校 教諭 柴田 征宣

1 単元名 「わたしたちの政治参加」（東京書籍P100～101）

2 単元について

(1) 単元観

本単元は、中学校学習指導要領の公民的分野「(3) 私たちと政治」の「イ 民主政治と政治参加」に位置づけられ、自治とは何か、議会制民主主義を取り入れているのはなぜか、民主政治をよりよく運営していくためにはどのようなことが必要かについて理解させたり、主権者として政治に参加することの意義について考えさせたりすることなどをねらいとしている。

地方自治の考え方は、「民主主義の学校」といわれるように、自分たちの住む地域の生活環境をより良いものにしていこうという考え方から成り立つものと考えられる。よって、身近な政治である地方自治の基本的な考え方と仕組みについて学ぶとともに、自分たちの住む地域の具体的な内容を取り上げながら、自分たちの住む地域の現状を把握させたい。

また、学習の過程で様々な問題の解決やまちの発展に自分がどう関わるのかを考えることは、地域住民の一人として大切な機会になると考える。現在、三角町は過疎化、産業の衰退などが問題となっており、まさに今、まちづくりについて考えることが急務となっている。これまで、生徒たちは地理的分野の学習や総合的な学習の時間で、郷土の特色について学習し、三角町で活躍しておられる方々の話を聞いたり、職場体験学習では実際に三角町で働くことを体験している。

生徒のこれまでの経験や実際に感じていることを生かしながら学習を展開していくことで、自分たちが住んでいるまちを少しでも住みよくしたいという願いとまちの発展に寄与しようとする住民としての自治意識の基礎を育てることは、地域住民の一員である生徒達にとって価値あるものだと考える。

(2) 系統観

本単元における系統は以下の通りである。

小学校社会科	中学校社会科	
第6学年	第1学年地理的分野	第3学年公民的分野
わたしたちの願いを実現する政治	-----身近な地域の調査-----	-----現代の民主政治と社会-----
我が国の政治の働きについて、調査したり資料を活用したりして調べ、国民主権と関連付けて政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていること、現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていること。	身近な地域における諸事象を取り上げ、観察や調査などの活動を行い、生徒が生活している土地に対する理解と関心を深めて地域の課題を見だし、地域社会の形成に参画しその発展に努力しようとする態度を養うとともに、市町村規模の地域の調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方や発表の方法の基礎を身につけさせること。	地方自治の基本的な考え方について理解すること。その際、地方公共団体の政治の仕組みについて理解させるとともに、住民の権利や義務に関連させて、地方自治の発展に寄与しようとする住民としての自治意識の基礎を育てること。

(3) 生徒の実態

本学級は、男子16名、女子15名、計31名で、全般的に落ち着いており、静かな中にも学習に集中して取り組もうとする雰囲気がある。地理的分野の学習では、三角町の地理的事象に関するレポート作成を行った。そのため、地域に関する資料を収集・選択し、自分の思考を高める経験は少々できていると思われる。

しかし、地域に見られる地理的事象は認識できていても、その意味や今後の変化を予測する力は不足していると言わざるを得ない。また、他地域に見られる事象と比較・関連づける学習訓練も不十分であり、学んだことを他の学習の場面に生かす力もつけさせていく必要があると考える。

単元や授業のあり方に関する事前のアンケート結果は、以下の通りである。(31人)

① 三角町は好きですか。 ・とても好き：13人 ・好き：16人 ・少し嫌い：2人 ・嫌い：0人
② 三角町の課題は何ですか。(複数回答) ・過疎化が進んでいる ・働く場が少ない ・店が少ない ・若い人たちが楽しむ場がない ・町全体の盛り上がりがない ・観光客が少ない ・ゴミが多い場所がある ・盆、正月期の道路渋滞が多い
③ 三角町を活性化するためには、どんなことが必要ですか。(複数回答) ・西港の世界遺産に向けての活動 ・地域の行事を増やす ・観光客を取り入れるための活動 ・花、柑橘類を上手く活用する ・天草との連携を深める ・ボランティア活動を増やす ・店をつくる ・PR活動をする ・多くの人たちと交流できる施設の建設やイベントの計画
④ あなたは将来、三角町に暮らしたいと思いますか。 ・思う：8人 ・思わない：23人
⑤ 自分の意見を人前で発言することが得意ですか。 ・とても得意：2人 ・得意：7人 ・少し苦手：17人 ・とても苦手：5人
⑥ 人の意見をじっくりと聞いて、考えることが得意ですか。 ・とても得意：7人 ・得意：14人 ・少し苦手：6人 ・とても苦手：4人
⑦ 自分の意見をノートやワークシートにしっかりと書き記すことができますか。 ・毎回できている : 3人 ・だいたいできている : 6人 ・できないときがある : 19人 ・全くできていない : 3人
⑧ 討論(仲間と意見を交換する)やグループで行う授業は好きですか。 ・とても好き：5人 ・好き：18人 ・少し嫌い：6人 ・嫌い：2人

事前アンケートの結果より、将来三角町で生活し続けたいと回答している生徒が極端に少ないことが分かった。

また、人の意見をじっくりと聞いて考えることや討論などの授業に良い印象を持っている生徒が多く、学習課題の解決に向けてコミュニケーションが頻繁に交わされる活動への適性が高いと思われる。

その一方で普段の授業でも、ノートなどに書いた課題に対する自分の意見を人前で発言することに自信のない生徒も多いという実態がある。

(4) 指導観

① 指導にあたっては、次の点に留意し、指導にあたる。

- ・地域社会への関心を高め、将来住みよいまちにするにはどのようなことが必要で、どんな条件を整えば自分もここで生活していきたいと思うことができるか、そのために自分に何ができるのかということに視点を置いた思考できるような教材・教具の開発や授業展開の工夫等を行いたい。

- ・ 広報誌やホームページを活用するなど，地域の素材を使って主体的に調べを進めていく。その際，課題の背景に何があるのかを予想し，それを裏付ける資料を集め，三角町の課題について考察する。さらにその課題の解決策について意見をまとめて，より魅力的なまちづくりのための具体策について，聞く人に分かるように工夫して発表する場面を設定したい。
 - ・ 自分の意見をまとめる時には根拠を明らかにし，他の意見に対する自分の考えを述べるができるように，ワークシートの形式や助言に工夫を凝らしたい。また，発表しやすい形態と雰囲気づくりを心掛け，様々な意見との交流を通すことで考えをさらに深めさせ，よりよい地方自治のあり方を考える態度を育てていきたい。
- ② 社会科の特性を生かす研究の関連からは，次の点に留意し，指導にあたる。
- ・ 単元を貫く学習課題を設定し，地域のよさや課題を見つけ，どうすればよりよいまちづくりができるのかについて，身近な人や活性化委員の方から実際に話をうかがったり，自分たちの考えを聞いてもらう場面を設定したい。
 - ・ 実際に自分たちの提案を活性化委員の方に聞いてもらうことで，住民の一人として意欲的に，主体的に地方自治に取り組む基礎を育てたい。
 - ・ 現代社会の諸問題をとらえる視点を生かして，具体的な事例から身近な地域社会の問題を考えさせ，住民として主体的に地方自治にかかわる意欲を育てたい。
- ③ 人権教育の視点からは，次の点に留意し，指導にあたる。
- ・ すべての生徒が学習活動に積極的に取り組むことができるよう，教え合いや意見交換など主体的に学習できる場を設定するとともに，生徒の励みになるような一人一人を見つめた評価の工夫や支援を行いたい。
 - ・ 地域のために貢献している人々の考え方に触れることで，自分たちの生活が豊かに正しく送れるのも多くの人々の努力があってこそとの認識を深めさせたい。また，地域住民の一員としての連帯感を高め，協力して自分たちの住んでいるまちをよくしていこうという意欲を高めさせたい。

3 単元の目標

関心・意欲・態度	自分たちが住んでいる地域の具体的な事例を通して，地域への関心を高め，住民の一人として地方自治の発展に対して意欲的に寄与することができる。
思考力・判断力・表現力	地域の具体的な事例を通して課題を見出し，対立と合意，効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し，将来の主権者としてのあり方や責務について，その結果や過程を適切に表現することができる。
技能	調査や見学活動などを通して様々な資料を収集し，まちづくりについての有用な情報を適切に選択しながら，地域への提言をまとめたり，わかりやすく発表することができる。
知識・理解	地方自治についての知識を身に付けるとともに，地域の活性化を考える学習を通して，政治に関心を持つことや積極的な政治参加が大切であることを理解することができる。

4 単元の指導計画（7時間取り扱い）

過程	次	時	主な学習活動と身に付けさせたい能力や資質	評価
単元を貫く課題：魅力ある三角町をつくるための「活性化プラン」を提案しよう！				
つかむ	1	1	<p>「三角町のこんなところが好きⅠ」</p> <p>○アンケート結果を見て、自分たちが地域の未来を切り拓くという意識付けをさせる。</p> <p>○三角町のよさをグループで意見を出し合う。</p> <p>○グループから出された三角町のよさを3つほどにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然が豊か ・農水産物が豊富 ・史跡、遺跡が多い など 	○三角町のよさについて、積極的に考えたり話し合いに参加している。【関心・意欲・態度】
		1	<p>「三角町のこんなところが好きⅡ」</p> <p>○三角町のよさについて、具体的にどんなところがよいのかを調べる。</p>	○土地利用図，統計資料，観光パンフレット，インターネットなどから，三角町のよさについて裏付けるための資料を集めている。【技能】
予想する	2	2	<p>「三角町活性化プランを構想しよう」</p> <p>○三角町のよさをどのように扱えば，魅力あるまちづくりにつなげることができるかを考える。</p>	<p>○魅力ある三角町をつくるための方策を意欲的に考えようとしている。【関心・意欲・態度】</p> <p>○収集した資料や地域活性化の成功例等をもとに，郷土のよさに着目する観点から考え，判断することができる。【思考・判断・表現】</p>
確かめる	3	2	<p>「3年2組版三角町活性化プランを提案しよう」</p> <p>○魅力ある三角町をつくるための活性化プランを出し合う。</p> <p>○活性化委員の方のプランを聞き，助言やアドバイスをいただきながら，活性化プランを練り直す。</p>	○活性化プランについて，その根拠をわかりやすく伝えるとともに，自分と異なる考えと折り合いをつけながら合意形成に向けて話し合うことができる。【思考・判断・表現】
定着させる		2/2 本時	○練り直した活性化プランを，再度出し合う。	
ふくらませる	4	1	<p>「学習のまとめ」</p> <p>○これまでの学習を振り返り，三角町の未来図を描く。</p>	○これまでの学習から，地域社会の一員として地域をよりよくするために何ができるかを考えている。【思考・判断・表現】

5 本時の学習

(1) 本時の目標

○活性化プランについて、その根拠をわかりやすく伝えるとともに、自分と異なる考えと折り合いをつけながら合意形成に向けて説明することができる。

(思考・判断・表現)

(2) 本時の展開

過程	時間	主な学習活動	教師の指導 (予想される生徒の反応)	教材・資料等
導入	5	1 前時までの学習を振り返り、ビデオレターを見て本時の課題をつかむ。	○単元の導入段階でGTとして来ていただいた方のメッセージを聞くことで、自分たちが三角町の未来を切り拓かなければならないという意識を高めさせ、本時の課題へとつなぐ。 ・どんなビデオレターかな。	発表資料 ビデオレター
3年2組版「三角町活性化プラン」を提案しよう。				
展開	5	2 三角町活性化委員の方から、班ごとに助言やアドバイスをいただく。	○三角町活性化委員という専門的な立場からの情報を確認し、大切に受け止めるように助言する。 ・このような考え方があるんだ。 ○疑問点や気づきなどをメモを取りながら聞くように指示し、自分たちの活性化プランの改善に生かすことができるようにする。	発表資料 ワークシート
	23	3 再度、活性化プランを練り直す。 (1) 個人で練り直す。 (2) 班で練り直す。	○活性化委員の方の考えを参考にし、実現可能を高めるための工夫を取り入れた、活性化プランが提案できるようにさせる。	発表資料 ワークシート 評価
	12	4 練り直した活性化プランを発表する。	○根拠を明確に説明し、発表できるようにさせる。	発表資料 ワークシート
まとめ	5	5 活性化委員の方から全体の講評を聞く。	○地域の課題や悩み等を知り、中学生に対する期待の大きさを感じさせるとともに、三角町の未来を切り拓こうとする意欲を高めさせる。	ワークシート

(3) 本時の評価

場面	評価基準
評価	A：活性化プランを根拠をもとに説明できる。また活性化委員の考えを自分のプランに補完するとともに、よりよいまちづくりのプランになるように工夫している。(ワークシート・発表) B：活性化プランを説明することができ、活性化委員の考えを生かしている。(ワークシート・発表)